広陵町立広陵東小学校 学校通信

かがやき

令和８年 10 月１日

目指す学校像
明るく・楽しく
安全・安心な学校

文責：赤木 紀公

１年で最も長い２学期
～１年で最も成長できる２学期～

45 日間という少し長い夏休みが終わり、児童のみなさんの元気な姿が学校に戻ってきました。部活動のためにお盆休み以外はほぼ毎日生徒が登校する中学校と違い、小学校の夏休みはどこかもの寂しさを感じる日々でしたが、やはり学校は「子どもたちの元気な姿や声があってこそ！」だと改めて感じました。９ 月 １ 日の始業式では、大きな事故やけがの知らせもなく、児童のみなさんが学校に戻ってきてくれた喜びを伝えるとともに、１ 学期の終業式でお願いした「命を大切にすること」「規則正しい生活を送ること」「夏休みにしかできないことに挑戦すること」の３つのお願いの達成具合について聞きました。また、７ 日の全校朝の会では、『明日何が起こるか誰にもわからない』と題して、世界的な気候変動と、自分たちにできる日頃の備えや訓練の大切さをお話ししました。「明日何が起きると思う？」と聞いたときに「線状降水帯が発生する！」と答えてくれたのには驚きました。ニュースや新聞等で難解な語句も見聞きしてくれている証拠です。

２ 学期は、さっそく２ 日の夏休みの工作作品展から始まり、各学年の遠足、全校児童参加の不審者対応訓練、６ 年生の車いすダンス体験など、12 月まで盛りだくさんの行事が続きます。その中には体育大会や北葛城郡音楽会など、伝統的な一大行事も含まれます。長い ２ 学期の間に催されるさまざまな行事を体験していく中で、泣いたり笑ったり、思い通りにいかず葛藤したり、大成功して友だちと大喜びしたりしながら、子どもたちの自己肯定感や自己有用感が育まれていきます。２ 学期の終わり、2026 年を終える頃には、「この １ 年で成長したな！」と思えるお子さまの姿をご覧いただけると思います。

～ちっちゃい研究者～




夏休みが明けて、校長室に自宅にあった双眼実体顕微鏡を持ってきました。中休みやお昼休みに校長室に来てくれる子どもたちが、入れ替わり立ち替わり、いろいろなものを観察してくれています。

双眼実体顕微鏡は中学校で初めて扱う観察器具ですが、校長室の顕微鏡は研究室クラスの性能の機種で、上手に使うととても細かいところまで詳しく観察できます（被写界深度が深い）。初めて扱う子どもたちは、まず片目での観察からスタートし、接眼レンズを調節して、両目で見ることができるようになりました。さらに、拡大率を変更したり、粗動ねじや微動ねじを使いこなしたりする子もいます。

登校中に児童が見つけてくれた四つ葉のクローバーを校長室に飾っていたところ、その葉を観察して「葉っぱの周りにギザギザがある！！」と発見してくれました。自分の手のひらや指紋を観察して、「細い線がいっぱいある！」と驚く子もいました。図書館で借りた絵本の挿絵を観察した子どもは、ぱっと見ると赤や青、オレンジなど一色に見える絵が、顕微鏡で見ると複数の色の点（ドット）で描かれていることを発見し、肉眼ではなかなかわからない細かいつくりにも気づいてくれました。

～SNS との付き合い方～



先日、文書配布とメール配信で『携帯電話等、情報機器のご家庭での使い方について』と題したお願いをさせていただきました。２ 学期は校種を問わず、生徒指導上の課題が増えます。その中でも特に心配なのが、情報機器を介した SNS［Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）］の扱いです。中学校では、SNS に関わるトラブルが発生しない年はありません。こうしたトラブルはどんどん低年齢化しており、県内でも、小学生が関わる SNS 上のトラブルが増えています。また、学校での解決は難しく、警察や児童相談所等の専門機関との連携が必要となってきます。

ご家庭で保護者の方との約束のもとで所持しているスマートフォンについて、お子さまの使用状況を再度ご確認いただきますよう、お願いいたします。また、学校から貸与している学習用端末は、学習活動を目的として貸し出しているものです。学校では利用に関するルールを定めていますが、学習とは関係のないサイトの閲覧や動画の視聴、ゲームなど、ルールに反した利用が見受けられることがあります。貸与端末は、学習を支える大切な教育活動の一環として活用するものです。

スマートフォンや Chromebook などを問わず、ご家庭におかれましても、お子さまと一緒に学校やご家庭の利用ルールを再度ご確認いただき、適切な利用についてご指導くださいますようお願いいたします。

9月の学校行事（一部をご紹介します。）

9/14 不審者侵入対応訓練




９/10の不審者対応訓練事前指導を受けて、14 日は実際の対応訓練を行いました。事前に 8/19 に香芝警察署の方を講師にお招きして、教職員全体で不審者と対応職員に別れて訓練をしていましたが、本番では児童の皆さんにも加わって貰う本格的な訓練となりました。本番では、不審者役の先生の迫真の演技で、児童の皆さんは、本当に起きたら「怖い！」と思ったかも知れません。訓練後の全校集会では、先日の９月定例全校朝の会に続いて、「明日何が起きるかわからないから日頃から備えをしましょう」とお話しをしました。また、「今日の訓練からもう一度自分でどう行動すべきか考えましょう」「家に帰ってお家の人にどうすべきか話してみましょう」と宿題を出しました。

児童の皆さんは怖い思いをしたと思いますが、訓練がトラウマにならないように不審者役の先生は退場する児童の皆さんと両手ハイタッチで笑顔を注いでくれていました。

9/15 車椅子ダンス公演







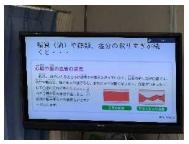
広陵町内の小学６年生を対象に、文化庁 学校・地域社会連携型公演 「共に生きる～車いすダンス公演～」がかぐや姫ホールで行われました。

障がいのある人とない人の講話と車いすダンス体験から、自分と違う立場で生きる人の生き方や想いを感じるきっかけをつくり、自身の周りにある人間関係や生き方を考えることのできる時間を創ることを目的として広陵町教育委員会主催で行われました。当日は、プロのダンサーの皆さんのダンスを観賞し、バラードやロックなど、さまざまな音楽に合わせて、華麗で迫力あるダンスを披露していただきました。車いすを巧みに操りながら、音楽と一つになって踊る姿、そして息の合った演技に、会場は大きな拍手に包まれました。また、各校の代表児童が車いすダンスに挑戦しました。見て楽しむだけでなく、自分の体を動かしてみることで、車いすで表現することの難しさと楽しさを実感し、新たな学びになったことと思います。公演を通して、自分とは異なる立場で生きる人の思いや、これまで歩んでこられた道にふれ、周りの人とのかかわり方や、自分自身の生き方について考える、よい機会となりました。

9/28 小中連携講座「食育」



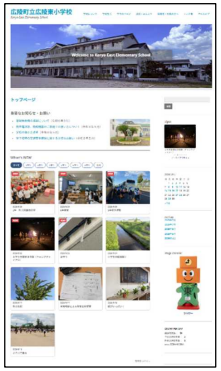




令和８年度、広陵東小学校では、学習面や生徒指導面における『小中連携』を重点方針として取り組んでいます。28 日には広陵町・香芝市共同中学校給食センターから広陵中学校の栄養教諭の先生に来ていただき ６ 年生各クラスで「おやつの食べ方を考えよう」の学習をしました。おやつの役割やおやつを摂るポイントを教えてもらったり、おやつや飲み物に含まれる塩や砂糖、油の量を実際にみせてもらったりしました。おやつの一覧表から 150～200 キロカロリーになる組み合わせを考えたり、これから気を付けたいことなども考えて発表したりしました。先日、実に 10 年以上ぶりにコカコーラを購入して飲んでみた私は、１ 本になんと 55g の砂糖が含まれていたことにびっくりしました。

今後、本校職員の広陵中学校の授業参観や広陵中学校の先生方にも本校に来ていただいて、子どもたちの学習の様子を参観していただく取組等を計画しています。

令和８年９月ホームページリニューアル NEW




９ 月に広陵東小学校のホームページをリニューアルしました。まだまだ内容は不十分ですが、日頃の学校の様子をご紹介していきたいと思いますので、お時間のあるときにご覧いただけますと幸いです。

学校ホームページ

https://koryo-east-jhs.jp/